第１３４号　日本共産党我孫子北地域後援会ニュース　２０２６年１０月



あけぼの山公園

北地域後援会は我孫子１～４・久寺家・台田・つくし野・並木・根戸・布施のエリア

しらかば北

発行責任者
井上文夫

9月議会 議会傍聴記

録画 議会中継より　編集部



9月9日～11日の3日間、我孫子市議会で一般質問が行われました。質問した議員は12名でした。

豪雨の被害と対策について

8月13日の豪雨の被害などに関して、船橋まさる議員を含めて8人の議員から質問があり、それぞれの市の回答要旨です。

① 我孫子市の降水量は（1時間）根戸近隣センターで97㎜を記録、水害被害は床上浸水77戸床下浸水116戸，店舗浸水21店舗、路上水没車60台と説明されました。

特に排水浸水想定区域、並木9丁目我孫子4丁目の状況と対策については、我孫子4丁目調整池に土のう30個をストックする場所を設け近隣住民が利用しやすいようにした。今後の有効な浸水ソフト対策として土のうの配布方法を検討中との回答でした。

② アンダーパスの状況

市が管理する2か所が浸水、県が管理する4か所中、3か所が浸水しました。

船橋まさる議員が、その対策として電光掲示板をつけた自動の冠水注意遮断機の導入を提案しました。同様の意見が他の議員からも出され市は遮断機が交通止めに有効な手段であると認め、導入に向け検討するとし、すぐできる対策として、冠水情報を明記したポストコーンや注意標識を設置するとの回答がありました。

③ ハザードマップの見直しについても複数の意見が出され、市は、ハザードマップの更新作業は編集に着手しており、本年度中に全戸配布の予定との回答でした。

補聴器購入助成制度の創設を

船橋まさる議員が補聴器購入の助成制度について松戸市、鎌ヶ谷市は実施しており、柏市でも助成制度が審議されていることを紹介し、我孫子市も制度を設けることを再度要請しました。市は現在国の公的支援助成制度の創設を優先し、市独自で補聴器購入助成を実施する計画はないとの回答でした。。

新リサイクルセンター問題

市民が納得する解決策を！

新リサイクルセンターの建設については、6月議会で賛成多数で議決されました。総事業費は209億円。物価高騰などで整備費は、計画策定時の約56億円から約118億円と2・1倍に膨れ上がりました。これによって、毎年の実質財源の負担額は3億2400万円が増加することになります。

我孫子市は毎年財源不足が指摘されており、さらに財源が厳しくなります。そのしわ寄せは教育や福祉など市民の暮らしに直結する予算に及ぶのではないでしょうか。

もちろん、老朽化した現リサイクルセンターの破砕機を更新することは必要だと思いますが、その他の設備についてはもう一度見直して、工事費を抑えるべきです。

もう一つは我孫子市単独でこれだけの費用を負担するのはとても無理です。ぜひ近隣の市との共同事業化などによって、お互いの経費を削る方法を検討し実現してもらいたいと思います。

（井上）

皆さんの声をお聞かせください

北地域後援会では、皆さんがお住まいの地域での困りごとや改善要望など暮らしの問題を、お聞きかせ頂き、その解決のために船橋まさるさんに紹介し実現してまいります。

今までご相談をいただいた歩道の凸凹の改善や、家庭の水漏れの修理、庭木の手入れなど無事解決して、ご依頼の方から大変喜ばれました。

船橋まさるさんは、建築関係のエキスパートでありまた、市議会議員として暮らしを守る立場で皆さんからの声を聞き、その実現のため活動しています。

【連絡先】
井上　090－5193－0601

花火

「渡る世間は鬼ばかり」（通称：渡鬼）というテレビ番組をご存知でしょうか。30年以上前に放送が開始され、シリーズ化で20年近く断続的に放映されました。現在夕方にBSで再放送しており、私は毎日楽しみにみています。毎回平成時代の社会を反映した夫婦・親子孫・家族間の話題をテーマに描かれています。▼同時代を生きてきた者として、興味深いのは当時あまり感じ無かった違和感を持つことです。▼女性の生き方、結婚観、学歴・職業観等々や「親の言うことが聞けないなら出ていけ」とか「当たり前のように子供を平手打ちする親」など、現在のホームドラマでは即アウトのシーンが度々あります。▼私は地続きで生きてきたのでその当時はありうることと受け入れてきましたが、改めて再放送を見て現代と比較すると、世の中も私の受け取り方も大きく変化してきたのだと痛感します。紆余曲折ありながらも人間社会は確実に前進しており、希望が湧きます。

（香）

この後援会ニュースは発行以来カラー印刷で好評でした
継続するために読者の皆さまのご支援をお願い申し上げます。

第71回 日本母親大会 参加記

《我孫子の参加者から、参加記録がたくさん寄せられていますが、その中から松村夫美子さんの参加記を載せます。》

初日の天候は曇りでしたが、日本三景の松島湾一周遊覧をしました。二日目の全体会の仙台サンプラザホールの大きな会場は1階も2階も満席でした。

記念講演は、日本とニューヨーク州の弁護士資格を持ち、羽鳥慎一モーニングショーの月曜コメンテーターの猿田佐世さんの「新しい外交を切り開く―平和・人権・くらしが守られる社会―」と題しての講演でした。話題が豊富で話が面白くあっという間に終わった感じでした。

国と国との外交も勿論大切であるが、民間の交流が大事だと話します。彼女は世界中を飛び回って人道支援や外交をされていて話が尽きません。また歯に衣着せぬ話しっぷりでテレビ出演の際に「すぐにコマーシャルに切り替えられるのよ」などと語り、チャーミングで素晴らしい講演でした。

全国の参加者でのエールの交換・闘いの報告・アピール採択・「いま わたしたちは」の大合唱に、全国で頑張っている皆さんの姿に涙が止まりませんでした。夜は宿で遅くまでお喋り、これもとても有意義な時間でした。

3日目は「安心して病院にかかりたい―人間らしく生きるために、地域医療の崩壊に抗して―」の分科会に出ました。

助言者の岩倉政城さんは『折り鶴』のシンガーソングライター梅原司平の兄。そして両親が治安維持法で投獄されたことなどから民主主義がどんなに大切か身に染みていると自己紹介で語りました。

さらに「今日の分科会は遠くから集まって来たのですから相互に意見を出し合いましょう」とアドバイスがあり、6人くらいのグループで話し合い、楽しい分科会でした。

旅行も含め有意義で学びいっぱいの3日間でした。

来年の開催地は決まっていませんが、我孫子からもっと沢山の参加で旅行も兼ねて行きませんか。

第3回 秋のコンサート

秋のコンサートが10月4日、市民プラザホールで開かれました。

今回は、中島清香さんとソプラノ小芝亜希子さん、ピアノ里見佳恵さんの出演でした。

中島清香さん 秋のコンサート



声とピアノにうっとり

寄せられた感想

にゃーん!! にゃーん!! にゃーん!!

〔猫の二重奏〕

今年も秋のコンサートを聴きました。

中島清香さんの柔らかい深みのある声、ちょっと硬質な小芝亜希子さんのソプラノ、二匹の猫が走り回り…「猫の二重唱」、驚き感心しました。声は本当に楽器ですね。

今回も幅広いラインナップでオペラ、日本歌曲、ジブリ作品金子みすゞまで。そして里見佳恵さんのピアノソロ、ショパン2曲、最後には「みんなで歌おう」、思いっ切り声をあげて歌いました。楽しいひと時でした。

来年も是非素敵なコンサートを、お願いします。（仲）



花束を手に笑顔

寄稿　小原 紘 ④

倚りかからず

もはや
できあいの思想には倚りかかりたくない
もはや
できあいの宗教には倚りかかりたくない
もはや
できあいの学問には倚りかかりたくない
もはや
いかなる権威にも倚りかかりたくはない
ながく生きて
心底学んだのはそれぐらい
じぶんの耳目
じぶんの二本足のみで立っていて
なに不都合のことやある

倚りかかるとすれば
それは
椅子の背もたれだけ

二つの詩をまとめて紹介したが、知性と理性の一片もないトランプやタカイチに失望した私たちに元気を与えてくれる。権威に倚りかからず、胸で感じ自分の頭で考える自立した人間の連帯が今こそ必要なのではないだろうか。

（おわり）

小原さんご寄稿いただきありがとうございました。

＊ 読者の皆さんのご寄稿を歓迎します ＊